



## 平成30年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

平成29年11月9日

上場会社名 株式会社オールアバウト 上場取引所 東  
 コード番号 2454 URL http://corp.allabout.co.jp/ir/  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 江幡 哲也  
 問合せ先責任者 (役職名) 執行役員CAO (氏名) 森田 恭弘 TEL 03-6362-1300

四半期報告書提出予定日 平成29年11月10日 配当支払開始予定日 -

四半期決算補足説明資料作成の有無： 有

四半期決算説明会開催の有無： 有 (機関投資家向け)

(百万円未満切捨て)

### 1. 平成30年3月期第2四半期の連結業績 (平成29年4月1日～平成29年9月30日)

#### (1) 連結経営成績 (累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
30年3月期第2四半期	6,562	44.4	321	654.4	321	891.5	247	-
29年3月期第2四半期	4,544	23.0	42	-	32	-	△46	-

(注) 包括利益 30年3月期第2四半期 256百万円 (-%) 29年3月期第2四半期 △68百万円 (-%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
30年3月期第2四半期	18.41	17.86
29年3月期第2四半期	△3.47	-

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
30年3月期第2四半期	5,183	3,812	67.5	267.29
29年3月期	5,045	3,659	72.3	269.68

(参考) 自己資本 30年3月期第2四半期 3,496百万円 29年3月期 3,646百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
29年3月期	-	0.00	-	3.00	3.00
30年3月期	-	0.00	-	-	-
30年3月期(予想)	-	-	-	-	-

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無： 無

(注) 当社は定款において、第2四半期末日及び期末日を配当基準日と定めておりますが、現時点では期末における配当予想額は未定であります。

3. 平成30年3月期の連結業績予想（平成29年4月1日～平成30年3月31日）

（%表示は、対前期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	13,600	31.1	600	7.9	580	7.6	450	93.8	33.28

（注）直近に公表されている業績予想からの修正の有無： 無

※ 注記事項

（1）当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）： 無  
新規 ー社（社名）ー、除外 ー社（社名）ー

（2）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用： 無

（3）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

（4）発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	30年3月期2Q	13,533,700株	29年3月期	13,533,700株
② 期末自己株式数	30年3月期2Q	451,158株	29年3月期	13,613株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	30年3月期2Q	13,422,027株	29年3月期2Q	13,520,134株

※ 四半期決算短信は四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料2ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	2
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 .....	3
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	3
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	5
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間 .....	5
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間 .....	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 .....	7
(継続企業の前提に関する注記) .....	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	7
(セグメント情報等) .....	8

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間における我が国経済は、景気は緩やかな回復基調が続いているものの、個人消費の回復は足踏み状態が続いております。また、海外の政治・経済動向などの懸念材料もあり、依然として先行き不透明な状態で推移しております。

このような環境下で当社グループは、「メディア広告&ソリューション」「トライアルマーケティング&EC」「生涯学習」「グローバル」「CtoC」「ウェルネス」「クラウドソーシング」「デジタルコンテンツ」といった8つの領域を中期的な注力領域とし、それぞれの領域に対しWEBとリアルの両面から最適なソリューション及びサービスを提供すべく、グループ経営を推進してまいりました。

以上の結果、当第2四半期連結累計期間の売上高は6,562百万円(前年同四半期比44.4%増)、営業利益は321百万円(前年同四半期比654.4%増)、経常利益は321百万円(前年同四半期比891.5%増)、親会社株主に帰属する四半期純利益は247百万円(前年同四半期は親会社株主に帰属する四半期純損失46百万円)となりました。

報告セグメントの状況は以下のとおりであります。

#### (マーケティングソリューションセグメント)

マーケティングソリューションセグメントにおきましては、ネットワーク広告を中心に広告売上が堅調に推移しました。また、分散型メディアプラットフォーム「c i t r u s」における広告出稿が増加しました。

以上の結果、マーケティングソリューションセグメントの売上高は1,801百万円(前年同四半期比24.4%増)、セグメント利益は360百万円(前年同四半期比74.3%増)となりました。

#### (コンシューマサービスセグメント)

コンシューマサービスセグメントにおきましては、「サンプル百貨店」におけるサンプル商品の拡充と会員数の増加に注力し、主力の有償サンプリングサービス「ちよっぷル」が堅調に推移しております。また、前期に実施しておりましたTVCMの終了により、広告宣伝費が減少しております。

以上の結果、コンシューマサービスセグメントの売上高は4,785百万円(前年同四半期比53.4%増)、セグメント利益は140百万円(前年同四半期はセグメント損失17百万円)となりました。

### (2) 財政状態に関する説明

#### (資産)

当第2四半期連結会計期間末における流動資産は4,044百万円となり、前連結会計年度末に比べ41百万円減少いたしました。これは主に現金及び預金が27百万円増加した一方、受取手形及び売掛金が50百万円、繰延税金資産が39百万円減少したことによるものであります。

当第2四半期連結会計期間末における固定資産は1,139百万円となり、前連結会計年度末に比べ179百万円増加いたしました。これは主に建物(純額)が22百万円、工具、器具及び備品(純額)が16百万円、ソフトウェアが69百万円、関係会社株式が58百万円、差入保証金が59百万円増加した一方、のれんが19百万円、ソフトウェア仮勘定が32百万円減少したことによるものであります。

#### (負債)

当第2四半期連結会計期間末における流動負債は1,278百万円となり、前連結会計年度末に比べ28百万円減少いたしました。これは主に未払金が38百万円、未払費用が18百万円、預り金が21百万円増加した一方、買掛金が22百万円、未払消費税等が54百万円、前受金が25百万円減少したことによるものであります。

当第2四半期連結会計期間末における固定負債は92百万円となり、前連結会計年度末に比べ13百万円増加いたしました。これは主に資産除去債務が11百万円増加したことによるものであります。

#### (純資産)

当第2四半期連結会計期間末における純資産合計は3,812百万円となり、前連結会計年度末に比べ153百万円増加いたしました。これは主に連結子会社である株式会社オールアバウトナビの株式の一部譲渡及び同連結子会社による日本テレビ放送網株式会社を引受人とする第三者割当増資により資本剰余金が344百万円、非支配株主持分が302百万円増加したこと、親会社株主に帰属する四半期純利益を247百万円計上したこと及び40百万円の配当実施により利益剰余金が206百万円増加したこと、また、立会外買付により自己株式が700百万円増加したことによるものであります。

### (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

連結業績予想につきましては、平成29年8月9日に公表いたしました通期の連結業績予想に変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成29年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成29年9月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	2,245,240	2,272,891
受取手形及び売掛金	1,300,987	1,249,991
商品及び製品	384,086	389,172
未成制作費	2,035	3,369
前払費用	30,826	51,475
繰延税金資産	80,370	40,533
その他	47,258	43,194
貸倒引当金	△4,913	△5,843
流動資産合計	4,085,891	4,044,784
固定資産		
有形固定資産		
建物	108,799	148,947
減価償却累計額	△46,125	△63,457
建物(純額)	62,673	85,489
工具、器具及び備品	147,139	167,619
減価償却累計額	△108,233	△112,696
工具、器具及び備品(純額)	38,906	54,923
有形固定資産合計	101,580	140,412
無形固定資産		
のれん	240,812	220,959
ソフトウェア	289,614	358,637
ソフトウェア仮勘定	69,795	37,309
その他	522	522
無形固定資産合計	600,745	617,429
投資その他の資産		
投資有価証券	57,758	56,276
関係会社株式	—	58,099
破産更生債権等	11,148	11,148
長期貸付金	8,000	4,000
差入保証金	134,208	193,344
繰延税金資産	31,326	41,760
その他	26,399	26,430
貸倒引当金	△11,148	△9,783
投資その他の資産合計	257,692	381,276
固定資産合計	960,017	1,139,118
資産合計	5,045,909	5,183,902

(単位:千円)

	前連結会計年度 (平成29年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成29年9月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	736,508	714,052
1年内返済予定の長期借入金	—	2,527
未払金	864	39,653
未払費用	248,371	266,546
未払法人税等	127,110	116,923
未払消費税等	79,655	25,527
前受金	35,693	10,622
預り金	29,853	51,107
賞与引当金	9,710	14,555
その他	39,893	37,296
流動負債合計	1,307,658	1,278,812
固定負債		
長期借入金	21,262	19,096
退職給付に係る負債	30,750	32,552
資産除去債務	27,000	38,100
その他	—	2,913
固定負債合計	79,012	92,661
負債合計	1,386,671	1,371,474
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	1,199,222	1,199,222
資本剰余金	1,854,252	2,198,537
利益剰余金	596,871	803,405
自己株式	△4,243	△704,278
株主資本合計	3,646,103	3,496,886
新株予約権	676	641
非支配株主持分	12,457	314,899
純資産合計	3,659,237	3,812,428
負債純資産合計	5,045,909	5,183,902

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書  
 (四半期連結損益計算書)  
 (第2四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年9月30日)
売上高	4,544,920	6,562,397
売上原価	1,938,756	3,255,502
売上総利益	2,606,163	3,306,895
販売費及び一般管理費	2,563,524	2,985,224
営業利益	42,639	321,671
営業外収益		
受取利息	758	403
受取配当金	500	500
その他	2,775	2,571
営業外収益合計	4,033	3,475
営業外費用		
支払利息	73	—
持分法による投資損失	12,884	1,900
為替差損	1,212	—
投資有価証券評価損	—	1,481
その他	95	448
営業外費用合計	14,266	3,830
経常利益	32,406	321,315
特別利益		
新株予約権戻入益	396	35
関係会社株式売却益	—	13,530
固定資産売却益	—	1,000
特別利益合計	396	14,565
特別損失		
固定資産除却損	10,869	1,157
減損損失	131,194	—
事務所移転費用	—	8,216
その他	—	760
特別損失合計	142,064	10,133
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	△109,261	325,747
法人税、住民税及び事業税	26,647	28,190
法人税等調整額	△67,033	40,930
法人税等合計	△40,386	69,120
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△68,875	256,626
非支配株主に帰属する四半期純利益又は非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	△21,992	9,533
親会社株主に帰属する四半期純利益又は親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	△46,883	247,093

(四半期連結包括利益計算書)  
(第2四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年9月30日)
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△68,875	256,626
四半期包括利益	△68,875	256,626
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△46,883	247,093
非支配株主に係る四半期包括利益	△21,992	9,533



(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

(子会社による第三者割当増資)

当社は、平成29年6月1日付で連結子会社である株式会社オールアバウトナビの株式の一部譲渡を行いました。また、同連結子会社は平成29年6月1日付で第三者割当増資による募集株式の発行を行っております。

この結果、当第2四半期連結累計期間において資本剰余金が344,285千円増加し、当第2四半期連結会計期間末において資本剰余金が2,198,537千円となっております。

(立会外買付取引による自己株式の取得)

当社は、平成29年8月18日開催の取締役会決議に基づき、立会外買付取引により自己株式437,500株の取得を行いました。この結果、当第2四半期連結累計期間において自己株式が700,000千円増加し、当第2四半期連結会計期間末において自己株式が704,278千円となっております。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第2四半期連結累計期間(自平成28年4月1日 至平成28年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	マーケティング ソリューション	コンシューマ サービス	計		
売上高					
外部顧客への売上高	1,428,316	3,116,603	4,544,920	—	4,544,920
セグメント間の内部 売上高又は振替高	20,154	2,437	22,592	△22,592	—
計	1,448,470	3,119,041	4,567,512	△22,592	4,544,920
セグメント利益又は損 失(△)	206,997	△17,757	189,239	△146,600	42,639

(注) 1. セグメント利益の調整額△146,600千円は、各報告セグメントに配分していない全社費用△146,600千円であります。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2. セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

当第2四半期連結会計期間に、マーケティングソリューションセグメントにおいて、131,194千円の減損損失を計上しております。

(のれんの金額の重要な変動)

マーケティングソリューションセグメントにおいて、連結子会社であるファイブスターズゲーム株式会社を取得した際に生じたのれんについて、業績が当初想定していた事業計画を下回って推移していることから新たに事業計画を見直した結果、帳簿価額を回収可能価額まで減額いたしました。

当該事象によるのれんの減少額は、131,194千円であり、当第2四半期連結会計期間に減損損失として特別損失に計上しております。

なお、上記(固定資産に係る重要な減損損失)の中に当のれんの減損損失も含めて記載しております。

Ⅱ 当第2四半期連結累計期間(自平成29年4月1日 至平成29年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	マーケティング ソリューション	コンシューマ サービス	計		
売上高					
外部顧客への売上高	1,777,235	4,785,161	6,562,397	—	6,562,397
セグメント間の内部 売上高又は振替高	24,642	—	24,642	△24,642	—
計	1,801,878	4,785,161	6,587,040	△24,642	6,562,397
セグメント利益	360,734	140,312	501,046	△179,375	321,671

(注) 1. セグメント利益の調整額△179,375千円は、各報告セグメントに配分していない全社費用△179,375千円であります。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

重要性が乏しいため記載を省略しております。